

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 9 - 4

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		町内小工事代事業					
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	土木管理係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	大場利昭		氏名	田原慎也	
事業の概要	本事業は、町道の舗装、排水、法面等の応急的補修工事に対応するための事業であります。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)		
事業費	国・道支出金			千円			
	地方債			千円			
	その他			千円			
	一般財源			38,900 千円			
	事業費計			38,900 千円			
実施方法	直営	民間委託		その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~				
	基本施策	#	交通体系の整備				
	単位施策	1	道路環境の向上				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	9,997 千円	5,657 千円	7,460 千円	7,500 千円	7,500 千円	
	合計	9,997 千円	5,657 千円	7,460 千円	7,500 千円	7,500 千円	

561

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	道路未補修による交通障害。	町道舗装等の補修件数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町道の舗装、排水等の応急補修による現況復元。	指標 (指標計算式 / 解説)	町道舗装等の補修件数 / 町道舗装等の補修件数の実績	目標年度	平成21年度
				目標値	5 件
				実績値	5 件
				達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	町道の通行の安全確保の維持。			目標年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
民間業者による工事の実施	入札及び見積り等により民間業者に工事発注し補修を実施した。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町道の舗装、排水等の応急的な工事により、通行の安全を確保することは、町が担う必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	当該工事を実施したことにより、通行の安全確保が図られた。
	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	入札及び見積り等により事業費が抑制できたこと、応急的な対応を行うために予算措置し早急に対応できたことは、被害の拡大を防止することとなるため、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	町道の舗装、排水等の応急的な工事により、通行の安全を確保できたので、不特定多数である道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
応急的な補修工事ができたことは、町道の安全な通行上、今後も必要な事業であると判断する。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	継続 / 現状維持 町道の安全な通行のために、応急的な補修工事に対応することは、必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		
*展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止			

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--